



3月 地域子育て支援センター

お子さんの健やかな成長を願い、無料で施設を開放して育児支援を行っています。



【なかよしひろば】

- 3月30日(月)・31日(火)はお休みです。
- 詳細等は各子育て支援センターまでお問い合わせください。

すまいるひろば ☎22-8099

宝田子どもセンター 平日 9:00~14:00

- 4日(火) おはなし会 (こすもすおはなし会) 予約不要
- 10日(火) 身体計測
- 17日(火) 人形劇 (人形劇団ぷくぷく)
- 24日(火) 楽しかったね！すまいるひろば

ふれあいひろば ☎28-1725

橋子どもセンター 平日 9:00~14:00

- 3日(火) ひなまつり会 予約不要
- 12日(木) 歯科検診・子育て相談
- 19日(木) お別れ会 身体計測をしよう

ひだまりひろば ☎36-2241

新野子どもセンター 平日 9:00~14:00

- 4日(火) おはなしひろば 予約不要
- 11日(火) 室内アスレチックで遊ぼう♪
- 18日(火) 身体計測 (おおきくなったかな)
- 25日(火) 大きな紙に絵をかこう！

にこにこひろば ☎42-0720

今津子どもセンター 平日 9:00~14:00

- 5日(木) 大きくなったね (手形・足形アート) 10:00~ ※要予約 先着8組まで 電話予約不可となっています
- 11日(木) ママケアリンパ 10:00~ ※要予約 先着4組まで 電話予約不可となっています
- 17日(火) 身体計測

なかよしひろば ☎21-2002

平島子どもセンター 平日 9:00~14:00

- 3日(火) ひなまつりの写真を写そう！ 予約不要
- 10日(火) 身体計測
- 17日(火) おはなしのポケット
- 24日(火) みんな集まれ！

みんなのひろば ☎44-5059

岩脇子どもセンター 平日 9:00~14:00

- 3日(火) おはなしひろば (ひなまつり会) 予約不要
- 11日(火) 大きくなったかな (身体計測)
- 17日(火) わんぱくひろば (園庭開放) ボールプールであそぼう

つどいの広場・すくすくin阿南

予約不要



子育て相談や子どもと保護者間の交流の場です。ぜひお越しください。

時間 9:30~11:30

日程 3日(火)、6日(金)、10日(火)、13日(金)、17日(火)、24日(火)、27日(金)、31日(火)

場所 ひまわり会館 すこやかルーム

☎ 子育て支援課 ☎22-1677

令和8年度 阿南市病児・病後児 保育利用登録の申請について

病児・病後児保育の利用については、毎年度事前の登録が必要となっています。令和8年度の利用登録の申請を受け付けていますので、利用を希望される方は、申請をお願いします。詳しくは、市ホームページをご覧ください。なお現在、利用登録をされている方へは案内文を送付していますのでご確認ください。



市ホームページ

☎ 子育て支援課 ☎22-1677

家庭児童相談、児童虐待相談

主に18歳未満の児童を対象に心身の発達に関すること、家庭での教育問題、学校生活での心配事、児童虐待に関することなどの相談専用電話を開設しています。

直通電話 ☎22-0765

受付日時 月~金曜日 (祝日を除く) 9:00~16:00

☎ 子育て家庭センター

☎24-8062

「地域子育て情報アプリ あななんといっしょ」について

阿南市内の子育て支援施設の情報や子育てガイドを掲載しています。阿南市公式LINEにお友達登録後、トーク画面の下部に表示される子育てメニューからご利用いただけます。ぜひご活用ください♪



おひさまひろば

予約不要

平日 9:30~15:30

- 2日(月)、3日(火) 作ってあそぼうおひさま
- 5日(木) お誕生日会 9日(月) 休園
- 16日(月) 午後休園
- 17日(火)~19日(木)

☎こんなに大きくなりました ※要予約

23日(月)~25日(水) 育児計測

25日(水) 春のおはなし会スペシャル ※要予約

26日(木) 休園

27日(金) スタジオサークル撮影会 ※要予約

28日(土)~4月5日(日) 休園

☎ 阿南市子育て家庭支援センター

山口町末広12-1 ☎26-0353

子育て一言メモ

一期一会

春の日差しがふりそそぐ季節となりました。3月は、幼稚園、小中学校、高等学校などで卒業式が行われます。出会いがあれば別れがある、そのときになって初めて「もっと話しておけばよかった」「一緒に過ごした時間は特別だった」と気づくことが多いように思います。「一期一会」を実感する時でもあります。しかし、子どもたちにとって「一期一会」が自分ごととなるのは、もう少し成長してからのようです。では、実感が薄い子どもたちに、大人は「一期一会」をどのように教えたらよいのでしょうか。「この出会いやこの時間は一生に一度かもしれないから、大切にしようね」と説明して教えるより、日常生活に結びつけると伝わりやすくなります。子どもの話をしっかり聞いて一緒に喜んだり悲しんだりすること、また、大人自身がその瞬間を大切にすることを、子どもたちの心に「一期一会」の感覚が静かに根付いていくかもしれません。子育てにおいては、毎日が「一期一会」ですね。

学校教育課